



江別ユネスコ協会事務局だより 2015年7月8日号

◇江別ユネスコ協会事務局/067-0074江別市高砂町 24-6 教育委員会生涯学習課内(担当・石津☎381-1069)

「インドの古都インパールの文化と市民生活」～学習会を開催！

インドのマニプル州のインパール市は、かつてのマニプル王国の首都で、現在は人口約 30 万の美しい町です。マニプル王国は 1891 年に、国王の後継者争いに便乗したイギリス軍の攻撃を受け敗戦、解体しました。いまも町の中心部にカングラ宮殿の遺跡が保存され、歴史をしのばせる情緒ゆたかな町並みが残されています。

第 2 次世界大戦では、ビルマ（今のミャンマー）を追われた連合軍の反攻拠点となり、これを攻略してインド侵入をめざした日本軍の「インパール作戦」が大失敗したことで、有名な地名になりました。補給を無視した無謀な戦略で、日本軍は多大な損害を出し、連合軍に対する東南アジアでの優位性を失うことになり、ビルマ戦線の転換点になったと言われています。

本年 5 月に江別市の英語指導助手になったアボンマイさんは、インパール市の出身で、大学や大学院で動物学を修めたのち、高校教師や社会福祉団体などいろいろな職業を経験し、2009 年からは主に日本国内で活動しています。今回の学習会では、インドの一番東の端の町から来たアボンマイさんに、あまり知られていないインドのお話を聞いてみたいと思います。

- 日 時 7 月 30 日（木）18：30～
- 会 場 野幌公民館・1 F 団体活動室
- 講 師 ジョセフ・アボンマイ さん（江別市教育委員会・英語指導助手）
- テーマ 「インドの古都インパールの文化と市民生活」

「明治日本の産業革命遺産」～日本で 19 番目の世界遺産に！

今年の第 39 回世界遺産委員会は 6 月 28 日から 7 月 8 日までの日程で、ドイツ西部の都市ボンのワールド・カンファレンス・センターで開かれました。議長国はドイツで、議長はマリア・ボーマー教授が務めました。副議長国はクロアチア、インド、ジャマイカ、カタール、セネガルの 5 か国。書記国はレバノンが担当しました。委員国はこれらも含めて 21 か国で、日本や韓国も入っています。日本は今年で任期切れになります。

この会議で、新たに 24 件の登録を決定しました。内訳は文化遺産 23 件、複合遺産 1 件です。日本からは「明治日本の産業革命遺産－製鉄・鉄鉱、造船、石炭産業」が文化遺産として登録されました。これでユネスコ世界遺産は 1031 件（文化遺産 803 件、自然遺産 197 件、複合遺産 31 件）になりました。危機遺産はコロンビアのロス・カティオス国立公園が削除され、新たに 3 件が追加されて 48 件になりました。

第 49 回北海道ユネスコ大会（室蘭）に参加しよう！

2015 年度の全道大会・兼北海道ブロック活動研究会は、10 月 17 日（土）～18 日（日）に、室蘭市・室蘭プリンスホテル（中央町 1-4-9）において開催されます。主催は日本ユネスコ協会連盟と北海道ユネスコ連絡協議会で、室蘭ユネスコ協会が主管協会となり、大会テーマは「ESD のさらなる推進－あなたの毎日が、未来になる」です。参加申込みは 8 月末に開始される予定です。

当協会へも多数の出席を要請されておりますので、ふるってご参加ください。この大会・研究会はユネスコ会員でなくても参加できますので、ご家族、ご友人などお誘い頂いて、民間ユネスコ活動の輪を広げる機会にして頂くよう、お願いいたします。なお、ご都合によっては当日、会場でも「現地登録」ができますので、白鳥湾の展望が美しい仲秋の室蘭の街をぜひ訪れてください。

